

## 平成23年度第4回 読書のまち八王子推進連絡会議 会議録

日時 平成24年2月20日(月) 午後6時00分～午後7時31分

場所 八王子市中央図書館 3階 会議室

出席者氏名

委員 三浦 眞一 山崎 久道 斉木 治枝 小林 恵子  
鈴木 康弘 松葉 由里子 大東 有希 大橋 道代  
斉藤 和巳 木内 雅彦 森田 聖二 常盤 義輔  
草刈 あずさ

欠席委員 吉沢 淳 黒田 八千代

事務局 望月中央図書館長 中村生涯学習センター図書館長  
玉木南大沢図書館長 田中川口図書館長  
中央図書館 大宮主査 一杉主査 樋口主査  
南大沢図書館 太田主査 新井主査

傍聴人 0 人

開会

事務局(田中川口図書館長)～本日はお忙しいところ平成23年度第4回読書のまち八王子推進連絡会議にご出席いただきましてありがとうございます。

それでは、これより、読書のまち八王子推進連絡会議の進行を三浦会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

三浦会長～本日の会議につきましては、過半数の委員のご出席をいただいておりますので有効に成立しております。

吉澤委員・黒田委員は所用のため、どうしても出席できない旨の連絡がございました。

なお傍聴人は0人です。

また会議録の署名委員は 鈴木委員にお願いしたいと思います。

(鈴木委員の了承があった)

三浦会長～それでは会議資料の確認をお願いします。

事務局(新井南大沢図書館主査)～おそれいりますが、お手元の配布資料の確認をお願いします。

資料1. 八王子市立小学校PTA連合会第2回「読書のまち八王

子」推進コンクール入選作品の展示について  
資料2. 南大沢図書館主催講演会について  
資料3. 手作り本展について  
資料4. 第3回連絡会議の報告事項について  
参考資料として

・らいぶらりいー八王子市図書館報

以上ですが、不足などありましたらお申し出下さい。

( 資料の確認が行なわれた )

三浦会長～資料の確認はよろしいでしょうか。

それでは会議に入ります。

報告事項1 「読書のまち八王子推進コンクール入選作品の展示について」、事務局から説明をお願いします。

事務局（太田南大沢図書館主査）～八王子市立小学校 PTA 連合会主催で行われました、第2回読書のまち八王子推進コンクールの入選作品は市内4つの図書館において順次作品を展示し周知を図ることといたしました。

展示する入選作品ですが、優秀賞5点、入選5点の計10作品を、図書館主催で行われた「第7回読書感想画コンクール」の入選作品と合わせて展示するものです。

中央図書館での展示は、「手づくりの本展」が開催された1月28日から2月5日まで、同じ会場で行い、すでに終了しております。

現在は、資料に写真を付けておりますが、南大沢図書館におきまして、2月26日までの予定で展示しております。その後の予定ですが、3月1日から4月1日まで川口図書館で、4月4日から30日まで生涯学習センター図書館において展示いたします。

三浦会長～何か、ご意見ご質問など御座いましたらお願いします。

よろしいでしょうか。次は報告事項2 「図書館企画事業の実施結果について」それぞれ事務局から説明願います。

事務局（新井南大沢図書館主査）～南大沢図書館では、「～子どもと本を結ぶ～」をテーマに毎年講演会を実施しております。今年度は、絵本作家の「長野ヒデ子」さんをお招きして、11月26日（土）午後2時から生涯学習センター南大沢分館におきまして講演会を実施いたしました。募集人員60名の会場にはほぼ満員の方がお集まりくださいました。資料裏面には当日のアンケート結果を掲載しております。読み聞かせをされている方の多くから大変好評をいただきました。

事務局（中村生涯学習センター図書館館長）～手作り絵本の会と図書館ボランティアの会の共同で開催された手作り本展が1月28日から2月5日まで中央図書館地下展示室で行われました。出展者数、出展数、入場者数が昨年より多く集まる形になった。特に手づくり絵本の会が平成23年度の子どもの読書優秀実践団体として文部科学大臣賞を受賞した団体で、水、土、日に製本体験コーナーを行い、80名の参加があった。

三浦会長～それぞれ事務局の説明は終わりました。このことで、何かご意見ご質問などありましたらお願いします。

大橋委員～八王子は広いので、南大沢だけでなくもう1か所くらいで開催されればいいと思う。

三浦会長～1日拘束して2か所でやるなどの検討をしてみるのもいいのではないかな。

三浦会長～よろしいでしょうか。以上で報告事項は終わりました。その他として、前回の会議で質問あるいは訂正のありました項目について回答をお願いします。

事務局（田中川口図書館長）～ブックトークについて、出前講座としてやっているが、職員・嘱託でやっており全校に呼びかけることは考えていない。今後どうしていくかについては、職員・嘱託以外にボランティアさんをお願いするとかも合わせて研究させていただいている。現在やっているからどうぞということにはなっていない。

事務局（新井南大沢図書館主査）～対面朗読について、利用者欄が延べ人数と実人員と併記されていましたが、利用者は中央9名、生涯12名、南大沢2名、川口2名と訂正いたします。

三浦会長～説明は終わりました。このことで、何かご意見ご質問などありましたらお願いします。

斉木委員～ブックトークについて、何人ぐらいの人ができるのか。

事務局（田中川口図書館長）～中央は職員3名と嘱託、南大沢は職員1名嘱託1名となる。出前講座は本の修理、紙芝居の実演もやっているのですが、人手が足りないのが実情です。

斉木委員～児童担当が3人しかいないというのは、これで足りていると考えているのか、実はもう少しほしいと考えているのか。

望月参事～図書館の事業を選択しながら力を入れていくので、これを増やすということは持ってないです。今後の方向性として、ボランティアの方たちとトレーニングを積んで広げていくという方向性を持たなければいけないと考えている。

山崎委員～①ブックトークのようなサービスは付加価値をつけるサービスとして重要視されていくと思うので、そういうものについても検討をしていただきたい。

②図書館の仕事について、カウンター以外にバックヤードにもものすごく労力がとられている。そういうことを積極的に言っていないのでわからない部分がある。これをやるのにこれだけの人員がかかっているということを明確にした方がいいのではないかと感じる。

三浦会長～対面朗読では具体的にどういう本が多いのか。

事務局（中村生涯学習センター図書館館長）～いろいろな方がいて内容が全く違う。

三浦会長～古い資料を読んでくれというんは難しそうだ。

事務局（中村生涯学習センター図書館館長）～全部調べて対面朗読を行っている人もいる。

三浦会長～外国語の要望は。

事務局（中村生涯学習センター図書館館長）～今のところはない。

三浦会長～他になれば、以上で報告事項を終了いたします。次はその他です。

本日の会議は、第4期の委員として任期の最後の会議となりますので、各委員の皆さんから、任期を締めくくるにあたって、感想等をお願いしたいと思います。

まず、望月館長から2年間の図書館活動の報告方々ご挨拶したいとの申し出がありましたので、お願いいたします。

望月参事～平成22年度、システム更新、読書フォーラムの開催があった。読書週間の取り組みとして最高の入場者数があった。

学校配送便を22年12月から開始しその時期以降学校の団体貸出が前年比2倍になるくらいの成果があった。地区図書室の本格的な協議がスタートしました。次の連絡会議ではこういうところを分室化するという段階になってきました。

学校の貸出用ホームページを作っていくということを近々できる予定。都立図書館の多摩地区資料24,000冊整理に取り掛かっている。来年は公開することを予定している。

ユニバーサルデザインの取り組みについて、出張図書館を3施設に拡大し、来年度では本格実施のよていでとりくんでいる。

以上、読書のまち推進に一定程度前進できたと感謝申し上げたい。

この2年間いただいた指導を含めながら、取り組んでまいります。

三浦会長 ありがとうございます。

それでは斉木委員から順番に、感想などをお願いいたします。

齊木委員～私が参加したことで何が変わったのかという自信もないし、見えてこないというのが感想です。最後に検討していただきたいことを何点か申し上げます。①ブックスタートを最初に行ったささき先生が10年後に調査をしたら、何も覚えていないということだった。ブックスタートの成果を検討される際には就学直後とか親子含めやっていただきたいと思います。②二十歳の1冊という事業をしているところがあります。ブックスタートで配り、二十歳の成人式で配るという読書の機会を作っているところがあるので紹介しました。③福岡では書店が中心になって書展市を行っている。本で地域を興すことができるのではないかと思った。④山崎先生の言っていた図書館のバックヤードのことが見えてこない。館報を作っているといっても図書館へ来る人しか見ることができない。足を向かせるためにもいろんなところで発信していただきたい。

小林委員～読書指導員をさせていただいていたという立場から見たとき読書のまちにするために八王子はいろいろやっていたんだなというのがわかった。なぜ読書のまちなのかということをどんどんPRをして発信して欲しい。いろんな組織の代表の方が真摯に委員をされ、話を共有している場に2年間いられ、勉強になった。そして学校のデータベース化について学校図書室の充実を考えたとき、きちんと最後までデータベースをして欲しい。

鈴木委員～読書活動も学校により差があったが、差が縮まってきている。本校では卒業までに9回、読み聞かせを体験するというをしている。その成果がやっと出てきたような気がする。また職場体験も見ていただけではわからないことがわかったと校内で発表しているが、そのよかったという感想を図書館側がアピールしてもらおうと参加していない生徒も行ってみようと思うのではないか。

松葉委員～限られた予算で一生懸命やっているのがわかりました。読書のまちコンクールも図書館の協力を得て2年間できたのはよかった。先生方でさえわからない人が多いので、来年以降も続くと思うのでよろしくお願いします。また、小学校の図書室をもっと開かれたものにしないといけないと思うので小P連としても利用しやすい環境づくりをしていきたい。

大東委員～中P連としては学校図書館サポートセンターについて要望してきました。各校に司書がつくまでは続くと思うが、決してみなさんが活動されていないということではなく、お願いをしているところです。中P連としてはそういうことで活動しているのでお願いします。

大橋委員～文庫連なので子供たちへの読書ということでかかわりを持ってやってきた。文庫という存在を知らない人が多いので、小さいうちから本に親しんでもらって公共図書館に送り込もうということで活動を活発にしたいと思います。ここにはいろいろな立場の人がいるので、それぞれの立場でできることをしていかないといけないと思っている。その意味で小 P 連のコンクールとかがあって少しずつ広がっていると思うが、それぞれの力を発揮できたらいいなと思っている。

斉藤委員～私立保育園協会で0歳から預かっており、年齢にあった本を読んでいる。本の嫌いな親から本好きになった子の事例もあるので、様々な工夫をしながら年齢にあった本を探して読み聞かせを行いたい。

常盤委員～地区図書室の分室化で少しずつ動いている。21年22年と少しずつ利用者が増えている。小学校高学年から中学生と図書室に来てくれないという傾向があるので、来てもらうように考えている。

森田委員～山崎先生の講演会に参加したが、年配の方が多かった気がした。若い人が来てくれるとよかったと思う。

木内委員～ブックスタートを始めたときは本当にわかるのかと不安な気持ちであったが、親がとても楽しげで、子供が覗き込む、それを見て親が安心していている。親にとってもいい場なのだと感じた。

草刈委員～委員の方々から意見をもらおうと、ともすると見失ってしまう視点というものもあるのでありがたかったと思っている。意見をいただく場があるというのはとてもいいことだと思っている。同じ教育委員会だが、図書館が普段やっている業務以外にこれだけ幅広く様々なことに取り組んでいることは、とても素晴らしいと思った。

山崎委員～図書館が、暗い、堅いというイメージがあるが、図書館に来る人來ない人がどういう要因で来るか來ないかがあるのか、大学院生が研究テーマでやっている。一部の調査では親と図書館に來た人は後で図書館を使うことがあるということがいえるかもしれない。親と図書館に行いた体験を持つ人は、成長して図書館に行くという可能性が高くなる。もう少し親しめるイメージにすることが大事だと思っている。

読書に関する調査で、年齢が上がるにつれて本を読むことが少なくなるが、アメリカは違う。児童と一般の間にある YA が図書館によってばらばらになっている。YA コーナーがない図書館もある。図書館がばらばらにやるのではなく、相談しながら、場合によっては学校と相談しながら統一的な基準を作りどこに行っても同じに探せるということが大事だと思う。また、読書のまちを標榜するなら読書とは何かを定義して、それを目指すということを考えなくてはいけないと思う。

三浦会長～ありがとうございました。

それでは私からも、ごあいさつを申し上げます。

2年間ありがとうございました。議事進行して混同しやすかったのは読書と図書館行政についてである。図書館行政を直接どうのということだけでなく、地域社会に読書という行為をどう育てていくかということを議論していただく会なので、図書館の役割は大きくどうしてもそこに集中してしまう。そうなってくると自分の中で混乱してしまうことがあり、そういうことでご迷惑をおかけしました。

三浦会長～以上で、本日の会議を終了いたします。長時間のご審議をありがとうございました。